

世界 2019

脳 週間

World Brain Awareness Week

脳を 知る・創る
守る・育む

主催 特定非営利活動法人 脳の世紀推進会議

共催 国立研究開発法人 理化学研究所 脳神経科学研究センター/(公財)ブレインサイエンス振興財団

協力 日本神経科学学会/日本神経化学会/日本神経回路学会

脳の世紀推進会議賛助会員

(株) ATR-Promotions/(株) エヌ・ティ・ティ・データ 経営研究所/大塚製薬(株)/オリンパス(株)/(株) カーク サントリーウエルネス(株) 健康科学研究所/ショーシン EM(株)/積水化学工業(株) 住宅カンパニー/第一三共(株) 医薬営業本部東京支店/大日本住友製薬(株) 武田薬品工業(株)/田辺三菱製薬(株)/(株) 地球快適化インスティテュート/(株) 成茂科学器械研究所/(株) ニコンインステック/日清食品ホールディングス(株) ノバルティスファーマ(株)/(株) 日立製作所

開催趣旨

「世界脳週間」とは、脳科学の科学としての意義と社会にとっての重要性を一般に啓蒙することを目的として、世界的な規模で行われるキャンペーンです。

アメリカでは神経科学者が中心となり、1992年から毎年3月に「脳週間」を設け、公開講演・討論、病院や研究所の公開、学校訪問などの公開行事を企画し、実施してきました。それに呼応して、1997年からヨーロッパにおいても「脳週間」が実施されています。この両者が連携して1999年には同時期に「脳週間」を開催、さらに2000年からは、国際脳研究機構やユネスコの後援を受け、アジア・南米・アフリカの各国にも呼びかけ「世界脳週間」と銘打って世界的な規模に拡大しました。

我が国もこの「世界脳週間」の意義に賛同し、本法人が主体となり、高校生を主な対象として2000年より参画してきています。

我が国においては、高校生が参加しやすいようにするため、各地の高等学校の既存行事と重ならないように必要に応じ、3月15日を中心としてその前後を含めて企画されています。また、これらの行事には、高校の先生方にも参加をお願いしております。皆さまの積極的な参加を期待しております。

主催者 特定非営利活動法人 脳の世紀推進会議
理事長 津本 忠治

世界脳週間京都講演会

ようこそ脳科学の最先端へ

平成31年3月16日(土)

13:30~15:30

会場…東山高等学校 (京都市左京区永観堂51)

対象…高校生

主催：京都神経科学グループ

代表：佛教大学保健医療技術学部教授 河田光博
同志社大学脳科学研究科教授 櫻井芳雄

講演1 シナプスの情報伝達

川口真也 先生 (京都大学 産学官連携本部、理学部 特定准教授)

講演2 睡眠とその障害

漆葉成彦 先生 (佛教大学 教授、精神科医)



[担当者連絡先]

玉井克樹 (東山中学高等学校 進路指導部)
k_tamai@higashiyama.ed.jp

澤田寛成 (東山中学高等学校 企画広報推進室)
hr_sawada@higashiyama.ed.jp

[交通機関]

・京都市バス「南禅寺・永観堂道」下車 東へ徒歩5分
・京都市バス「東天王町」下車 東南へ徒歩6分
・地下鉄東西線「蹴上」下車1番出口 北へ徒歩約10分